

ゼミナール連合本部春学期の 反省と秋学期活動にむけて

ゼミナール連合本部 委員長
商学部3年

熊坂 翔

ゼミナール連合本部とは本学ゼミナール重視の教育方針にのっとり、各ゼミナール活動の活性化及び発展を目標に支援・援助を行っている学友会所属の団体です。

本年度は第37期役員として2年生6名、3年生7名、4年生5名の合計18名で活動しています。

春学期は、東日本大震災の影響により授業開始が1ヶ月遅れたことで私たちの活動にも支障がありました。毎月開催しているゼミナール連合委員会議が一回少なくなり、その後の会議内容の量が増えたため、各専門ゼミの皆様にもご迷惑をおかけしました。しかし、各ゼミのご理解ご協力もあり春学期を無事終えることができました。

春学期の主な活動としては、11月に開催される「ゼミ発表会」に向けて発表枠を決定する抽選会を行いました。また、本年度より初めての企画した「プレゼン講習会」というものも開催しました。プレゼン講習会とはゼミ発表会をより良い発表を各ゼミで目指してもらうために私たち役員が「良いプレゼンテーション」とはどのようなものかというのを実際にプレゼンテーションしました。内容といたしましては、昨年度インター大会で優勝したチームのプレゼンテーションをDVDで流した後、ゼミ連役員がどのようなスライドが見やすいのかや話し方の抑揚の付け方など講習会を行いました。初年度の企画としては参加者からも好評だったため、今後も続けていきたいと思っています。

秋学期には最大の企画である「ゼミ発表会」が開催されます。また、来年専門ゼミに所属する1年生を対象に各専門ゼミが自分たちのゼミをPRするPRイベントも開催されます。

このPRイベントは新役員の2年生が主体となって企画するものであり、この体験をすることで今後2年生たちに自信をつけてもらいたいと思っています。

学外活動としまして、私たちは日本学生経済ゼミナールに加盟しているためインター大会の運営のサポートや本学からの参加ゼミのサポートを行っています。本年度は中央大学で開催しており、本学からは3ゼミがインター大会に参加しています。興味のある方は是非足を運んでみてください。

このようにゼミナール連合本部は様々な活動を行っています。各行事の詳細はゼミ連ホームページや学内掲示でお知らせしています。

今後も私たちはゼミ生のニーズに応えられるような企画をしていきたいと思うと同時に、ゼミ発表会の成功を目指して日々努力をしていきますので、皆様の暖かいご声援のほどよろしくお願いします。



第1回 プレゼンテーション講習会



プレゼンテーション講習会を終えて

■ 平成23年度ゼミ発表会発表枠一覧（11月7日～11日）

日付	7日（月）			8日（火）			9日（水）		
時間	1101 教室	1102 教室	タカチホ ホール	1101 教室	1102 教室	タカチホ ホール	1101 教室	1102 教室	タカチホ ホール
9:00～9:35	開会式 (9:25～)			【高田第一】 第1班	【川名第一】 カフェ班		【成田第一】 成田第1班	【鈴木一成第一】 ハッカー班	【恩蔵第一】 自動車保険班
9:50～10:25	【木村第一】 ケセラセラ班			【舟木第一】 1班	【佐藤ゼミ】 佐藤ゼミパート2班		【成田第二】 成田第2班	【松崎第一】 こみゆ班	【金杉第一】 宗教班
10:40～11:15	【嘉瀬第一】 お菓子業界班	【竹内第一】 牛角班	【藤井第一】 経営戦略班	【岡田第一】SNS 班	【大島第一】 社史班	【嘉瀬第二】 スイーツ班	【徳田第一】 徳田班	【倉茂第二】 B班	【倉茂第二】 A班
11:30～12:05	【西山第二】 ASSETS班	【竹内第二】 SUBWAY班	【藤井第一】 経営組織班	【黒川第一】 B班	【木村第一】 介護労働班	【降旗第一】 2年生班	【庄司第一】 店頭 プロモーション班	【小澤ゼミ】 花王班	【楠美第一】 TEAM STOCK班
12:10～13:00	昼 休 み								
13:00～13:35	【嘉瀬第一】 LCC班	【竹内第二】 SCE班	【西山第二】 RESERVE班	【黒川第一】 A班	【木村第一】 いじめ班	【森平第一】 第1班	【田中第一】 もしバニ班	【佐野第一】 インタビュー班	【楠美第一】 電子マネー班
13:50～14:25	【渋谷ゼミ】現班	【竹内第二】 WATABE WEDDING班	【藤芳ゼミ】 1班	【佐藤ゼミ】 佐藤ゼミ1班	【藤田第二】 経営戦略班	【松崎第一】 ギャルママ班	【庄司第一】 ランキング班	【西山第一】 会計情報班	【後藤第一】 所得税法班
14:40～15:15	【西山第二】 SJM班	【菅野第一】 錯覚班	【林第一】 1班	【小林第二】 第5班	【渋谷ゼミ】 夢班	【降旗第一】 ゲーセン班	【西山第一】 会計価値班	【佐野第一】 アンケート班	【石井ゼミ】 日本ハム班
15:30～16:05	【小林第一】 学食班	【櫻井第二】 会計ソフト班	【竹内第一】 H&M班	【川名第一】 節電班	【岡田第二】 美容整形に 関する考察班	【降旗第一】 第三パート班	【林第二】 愉快な仲間班	【西山第一】 会計情報から 会社を読む班	【庄司第一】 共同購入 KOUAPON班

日付	10日（木）			11日（金）		
時間	1101 教室	1102 教室	タカチホ ホール	1101 教室	1102 教室	タカチホ ホール
9:00～9:35	【川名第一】 地域ブランド班	【小林第一】 相模ゴム班	【竹内第一】 資生堂班		【小林第二】 第3班	【松谷ゼミ】 身振り言語班
9:50～10:25	【園田第一】 アジア研究班	【竹内第一】 タワレコ班	【小澤ゼミ】 コナミ班	【新津第一】 3班	【大島第一】 婚活班	【笹金第一】 電子地域通覧班
10:40～11:15	【田口第二】 労働組合班	【小澤第一】 資生堂班	【中元第一】 大衆社会と娯楽班	【飯島ゼミ】 中国経済班	【新津第一】 2班	【笹金第一】 アフィリエイト班
11:30～12:05	【竹内第二】 SPA班	【藤田第一】 ビジネスプラン ②班	【安本ゼミ】 宇宙開発班	【小向ゼミ】 エンターテインメント 班	【倉茂第二】 C班	【百瀬第二】 合同班
12:10～13:00	昼 休 み					
13:00～13:35	【染谷第一】 高千穂 白熱教室班	【小澤第一】 カーブス班	【吉原ゼミ】 きょうだい班	【小向ゼミ】 会話術班	【新津第一】 1班	【笹金ゼミ】 3班
13:50～14:25	【小林第二】 ユニクロ班	【長谷川第一】 モンスター解明班	【安本ゼミ】 恋愛結婚班	【河合ゼミ】 河合ゼミ2011班	【新津第一】 5班	【尾関ゼミ】 うつ病について班
14:40～15:15	【松丸啓子第一】 けいこ班	【園部第二】 メイドカフェ班	【金杉第一】 ウン班	【新津第一】 4班		
15:30～16:05	【藤田第一】 ビジネスプラン ①班	【松崎第一】 事業転換班	【並木第一】 理科教育班	閉会式		

発表時間 25分

聴講者質疑・ゼミ講評 5分

講師講評 5分

合計 35分

教育実習体験レポート

人間科学部人間科学科
児童教育専攻4年

安藤 雄太



私は、5月30日から6月24日までの4週間、福島県にある須賀川市立白江小学校で教育実習を行いました。担当教科は小学校全科で、3年1組(28名)を担当させていただきました。

今回、東北地方を襲った東日本大震災の被害は大きく、当初は教育実習を予定通り行えない可能性もありましたが、実習校の校長先生、教頭先生、諸先生方のご配慮もあり、無事に母校で実習を行うことができました。

実習初日は職員室で先生方へのあいさつ、全校児童の前にしたあいさつなど、緊張の連続でした。また、校長先生による講話もあり、これから実習が始まるという期待と不安で頭が一杯でした。実習初日を含め実習の前半は、先生方が行う授業の観察が主な活動でした。観察授業では学ぶことが多く、特に「つながりのある授業」が重要であると気づきました。「つながりのある授業」とは、「めあて」と「まとめ」がしっかりとつながった授業のことで、そういった授業づくりをすることで、児童の理解がより深まると学びました。

実習後半は、実際に教壇に立ち授業をさせていただきました。観察授業で学んだことを生かし、授業づくりをしたつもりだったのですが、先生方のように上手いかず

失敗の連続でした。特に、よりよい「発問」や「めあてとまとめ」を考えることは難しく、先生方のご指導を生かし、工夫改善した上で授業を行いました。実習4週目には、丸1日、担任をさせていただく「1日担任」があり、素晴らしい経験となりました。また、先生方は常によりよい教育を行うため、「授業研究」をしており、その現職教育の場にも参加をさせていただきました。母校では主に「国語科」の研究をしており、国語科の指導に力を入れたいと考えている私にとって、とても貴重な場となりました。

実習全体を通して、私は改めて「児童理解」の重要性を痛感しました。子どもの発達段階や個性に応じて指導することで、子どもの力をどんどん引き出すことができると感じたのです。そこで私は、4週間という短い期間ではありましたが、できるだけ児童と一緒に過ごす時間を増やしました。それが児童理解に一番必要なことであると感じたからです。その結果、とても充実した時間となり、かけがえのない思い出となりました。

最後になりましたが、実習校の校長先生をはじめとした諸先生方、子どもたち、高千穂大学の教職課程を担当して下さっている方々に、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

教 職 課 程 新 規 履 修 ガ イ ド ラ ン ス

来年度より教職課程の新規履修を希望する1・2年生(人間科学部人間科学専攻は除く)を対象に教職課程新規履修ガイドンス(11月上旬予定)を実施します。

詳細につきましては、ガイドンス時に説明しますので、「将来、教員になりたい」という方はご出席ください。なお、ガイドンスにて申込用紙等を配布します。欠席された場合には教職課程の履修はできませんので、ご注意ください。日程につきましては、決定次第、掲示板にてお知らせしますのでご確認ください。

教育実習体験報告

教育実習を終えて

商学部商学科4年

加藤 薫



私は6月20日から7月1日までの2週間、母校である山形県立鶴岡中央高等学校で教育実習を行いました。担当科目は商業科目の簿記と情報の2つで、1年5組を担当しました。在学中にお世話になった先生方がたくさんいらして、快く接していただきました。

実習前半では、主に商業科目の授業を見学し、先生ごとに違う授業に驚きつつも、それぞれの良さを学びました。空き時間には先生方の授業を参考にしつつ、また私以外の教育実習生とも意見を交換し、教材研究を行いました。担当のクラスでも前半は見学をし、クラスの様子、先生の進め方を参考にし、放課後は教室の清掃を行い、生徒とのコミュニケーションを図りました。

実習後半では実際に授業を行い、初めはとても緊張し、生徒の様子を中々見ることができませんでしたが、徐々に慣れ、生徒の表情を見つつ、机間巡視を行ったり、板書

をしたりすることができるようになりました。突然授業をすることがありましたが、事前の教材研究のおかげで特に問題なく行うことができました。担当のクラスでは朝と帰りのSHRを行うことになり、担当の先生がいない時もありましたが、生徒も協力してくれ、スムーズに進めることができました。

実習を終え、2週間は長いようでとても短く感じました。しかし非常に充実した日々の中、貴重な体験をさせていただいたことにとっても感謝しております。教師とは簡単な仕事ではありませんが、やりがいがありとても素敵なものだと改めて思いました。

最後に、無事実習を終えることができましたのは実習校の校長先生をはじめ、指導してくださった先生方、生徒、高千穂大学の教職課程の先生方、教務課の方々のおかげです。この場を借りてお礼申し上げます。

教職課程について

本学では商学部の学生は高校の商業・地理歴史・公民及び中学校の社会科の免許、経営学部の学生は高校の商業・情報の免許、人間科学部児童教育専攻の学生は小学校の一種免許が取得でき、現在は約100名の学生が教職課程を履修しています。

現在、教員を取り巻く環境では、教員免許更新制の導入をはじめ、教員の資質向上に向けて積極的な取り組みが行われています。このような流れの中で、「とりあえず教員免許でも取っておこう」という安易な気持ちで教職課程を履修することはお勧めできません。また、教員免許を取得するためには卒業に必要な単位の他に、教職に関する科目や取得する免許の専門性を深めるために必要な教科に関する科目など沢山単位を取得することになります。「授業や各ガイダンスの欠席が多い」、「アルバイトや部活動を優先する」ということでは、教員免許の取得はとても難しいことです。従いまして、教職課程では本気で教師を目指すという学生をお待ちしています。

同窓会地方支部高千穂会の活動について

同窓会事務局

同窓会の主な事業は、①同窓会主催の総会・忘年懇親会の開催 ②同窓会会報誌「TAKACHIHO」の発行 ③地区高千穂会への支援 ④大学支援として同窓会奨学金の授与、運動部やゼミ連への奨励金の贈呈、高千穂祭への協力などです。



高千穂学園同窓会奨学金認定者

同窓会の会員数は約32,000人で、北は北海道から南は宮崎県まで地方支部高千穂会が27支部ありそれぞれ活発な活動を行っています。

同窓会地方支部高千穂会は、現在下表の通りであり、活動の様子についてご案内いたします。

各地方支部ではそれぞれ懇親会を開催しており、開催案内は支部高千穂会から発送いたしますので是非参加し、OBとの交流を図ってください。現役の学生を招待し交流を行っている支部もありますので関心のある方は同窓会事務局へお問合せ下さい。

尚、茨城県は10月に新たに発足する予定です。さらに関東一円で発足していない群馬県などは今後立ち上げるべく準備を勧めているところであります。

高千穂会一覧表

支部名	会長名	卒業回数	通信員	卒業回数	会員数
北海道高千穂会	吉田 兵一	大学 21	野西 光一	大学 32	166
青森県高千穂会	小山内 明	大学 19	珍田 大吾	大学 47	168
岩手県高千穂会	菊地 幸吉	大学 22	神貫 静夫	大学 24	133
宮城県高千穂会	佐藤 尹昭	旧中 34	小山 裕寿	大学 28	122
秋田高千穂会	諸井富喜雄	大学 5	星宮 弘宣	大学 21	227
山形県高千穂会	池田 惇	大学 17	北村 潤	大学 40	184
福島県高千穂会 会津地区	大塚 敏久	大学 27	古川 洋平	大学 56	100
福島県高千穂会 中通地区	八巻 正衛	大学 18	谷野 信夫	大学 25	210
福島県高千穂会 いわき地区	草野 洋治	大学 17	瀬田 恒靖	大学 18	90
栃木県高千穂会	高松 利光	大学 19	奥山 茂	大学 30	578
埼玉県高千穂会	長野 勝	大学 22	鈴木 喜章	大学 23	1898
千葉県高千穂会	湊川 国威	大学 14	藪田 徹心	大学 32	1560
東京都高千穂会	山本 雅道	大学 20	横川 浩一	大学 36	4782
神奈川県高千穂会 横浜・川崎地区	千葉 文雄	大学 4	吉田 孝一	大学 18	2442
山梨県高千穂会	跡部 尊朗	大学 7	坂本 正臣	大学 29	432
新潟県高千穂会	荒川 敏幸	大学 29	今成 直人	大学 31	624
石川県高千穂会	荒木 雅之	大学 28	柴田 昇	大学 28	90
静岡県高千穂会	銀瓶 山本 正平	大学 8	土方康太郎	大学 20	877
中京高千穂会	土屋 正俊	経専 31	内藤莊之助	大学 5	95
三重県高千穂会	西村 透	大学 28	中島 文仁	大学 26	56
関西高千穂会	木村 勇	大学 1	伊藤 憲明	大学 31	161
広島県高千穂会	西林 洋治	大学 20	小谷 隆春	大学 22	109
山口県高千穂会	未 定		池田 辰男	大学 23	53
香川県高千穂会	猪熊 憲雄	大学 22	小河 正昭	大学 32	44
高知県高千穂会	島崎 茂	大学 22	真鍋 豊志	大学 29	98
九州北部高千穂会	最上 政則	大学 19	関谷由紀房	大学 18	101
宮崎県高千穂会	田村 努	大学 22	南 貴彦	大学 35	51

平成 23 年 7 月 12 日現在

北海道高千穂会 札幌で開催

藤井理事長出席、懇親会盛り上がる

昨年に引き続き、去る 6 月18日(土) 午後 5 時から札幌の中心街すすき野にある「コロボックル(古鰯帆来)」で総会・懇親会を開催。

北海道の同窓会員8名が参加。東京からは藤井理事長・福田同窓会会長・金子副会長が出席。総会では22年度決算・23年度予算に加え、会則の一部改正案を審議、決議。

卒業以来大学を訪問していない参加者からは、藤井理事長の心強い挨拶にあらためて最近の大学の状況に関心が高まり、上京の折は大学に立ち寄るのが楽しみ、との声が出るほどでした。札幌や近郊にしながら卒業以来30年・40年振りに顔を合わせた同窓生が感激の対面をするなど、終止和やかな雰囲気でした。



北海道高千穂会

福島県高千穂会会津地区 会津市で開催

「講演会」と「いわき・中通り地区」の会長・役員が参加し交流を図る

平成23年 8 月27日に福島県高千穂会会津地区が会津若松センチュリーホテルにおいて開催。3 月11日に発生した東日本大震災の被害は浜通り地区、中通り地区においては、未だ復旧が完了していない状況であるが、幸いにも会津地区は他地方に比して被害が少なく通年通りの開催となった。会に先立ち、参加者全員で被災者への黙とうをささげた。

続いて、当会の清川雅史氏(大学31回卒、市議会議員)による「議会改革と震災対策」をテーマに「講演会」にてその取り組みを学んだ後、懇親会へと進んだ。大学より金子同窓会副会長、井上理事、後藤事務局長が出席、更にありがたかったのは、被害が大きかった、「いわき地区」から草野会長、瀬田事務局長、林事務次長、「中通り地区」から八巻会長にもご参加いただき、逆に元気をいただいた。会は総勢16名、各自の近況報告、思い出話と大いに盛り上がり、二次会、三次会へと大変楽しいひと時を過ごし、次の再開を誓い散会した。



福島県高千穂会会津地区

父母の会

平成23年度父母懇談会東京会場

～大学キャンパスで開催～

父母の会事務局

平成23年9月4日(日)父母懇談会が大学キャンパスで開催されましたので、概要を報告いたします。

東京会場は東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、山梨県、近畿・四国・中国ブロック、中部ブロック、九州ブロックの1都4県3ブロック支部の合同開催、267名のご父母の参加があり昨年より約2割増えました。

当日の主な内容は、以下のとおりです。

- 11時～ 各支部の支部会を1号館の教室にそれぞれ分かれ、支部の活動報告や役員の選出を行いました。
- 12時～ 昼食をセントラルスクエア3階の学生食堂で、学生が日頃食べている日替わり定食を学生と同じように並んで学食体験をしました。
- 13時～ 在学生による「就職活動体験報告」を4年生2名から内定を得るまでの体験談を、大学からの報告は、最初に「学園と大学の近況について」を藤井理事長と成田学長から、次に「教育課程について」成績や授業等に関して寺内教務委員長から、「就職指導について」では、企業の求人状況や指導体制など並木就職委員長からそれぞれ説明がありました。
- 15時～ ゼミ教員との「個別相談会」がセントラルスクエアの1、2、4階の3会場に分かれて行われ、ゼミ担当教員と面談し学生の就学状況などの説明を受け子供の様子を聞くことが出来ていました。
- 16時～ 懇親会が開催され先生方との交流が図られました。



東京都支部会



理事長による近況報告



学長による大学の近況報告



父母懇談会参加者



就職指導について



先生との個別面談

参加されたご父母の皆さんは、普段子供が通っている大学で直接教員や職員と話ができて、雰囲気を感じる事が出来たのではないのでしょうか。

今年度は東京会場をはじめとして、全国9会場で父母懇談会を実施しました。

今年度参加することができなかったご父母の方も、来年の父母懇談会でお待ちしておりますのでぜひご参加ください。

編集後記

▼「クォーターリー高千穂」第34号をお届けします ▼東日本大震災から半年を迎えた9月11日、各地で被害にあわれた方々に祈りを捧げるニュースを目にしました。被災地では、現在も不自由な暮らしの中で、これからの生活に不安を抱えた方が多くいらっしゃいます。みんなが支えあい、復興に取り組む必要があることをあらためて感じました ▼原発事故の影響から節電が求められた夏。気軽に電気を使うことができなくなった時、私達はどのように生活スタイルを変えるのでしょうか？ そんなことを考えるきっかけとなった夏でした ▼学内で避難訓練が行われ、実際にやってみると正確で冷静な対応ができないことが分かりました。いざという時のため、自信をもって「できる」という準備をしておいてください ▼さて、いよいよ秋学期、学園祭やゼミ発表会、学内が活気に満ち溢れる季節となります。限られた時間を無駄にしないよう、一日一日前向きに取り組んでください (編集室)

編集委員

- 編集長 古崎信彦
- 委員 高橋 拓
- 深津 剛





喫煙に関するルールについて

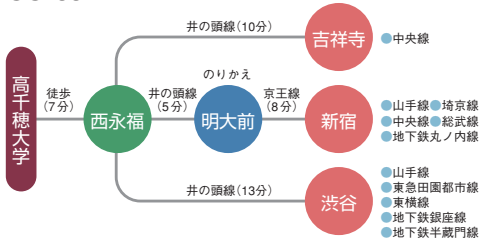
本学キャンパスのある杉並区では、条例により区内全域で、歩きタバコや吸い殻のポイ捨てを禁止（一部の路上禁煙地区では条例違反者から過料を徴収）しています。

本学においても、構内の指定された場所以外での喫煙は禁止とし、また、通学路等での喫煙についても歩きタバコや吸い殻のポイ捨てについては厳重に注意を与えています。

しかし、いまだにルールを守らない喫煙者が多く見受けられ、非喫煙者のみならず近隣住民の方々、ルールを守って喫煙している人にも多大な迷惑を掛けることとなっています。

高千穂大学の学生として、節度ある行動をとり喫煙マナーの向上を心がけてください。

ACCESS



- 山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅（井の頭線）まで13分（新宿駅からの場合は、明大前のりかえ）
- 中央線・吉祥寺駅から西永福駅（井の頭線）まで10分
- 西永福駅から本学まで徒歩7分

CAMPUS MAP



✉ soumu@gac.takachiho.ac.jp

Quarterly 高千穂 | Vol.34 |

Quarterly高千穂 第34号
発行責任者：吉崎信彦 発行：高千穂大学
〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1 TEL 03-3313-0141
発行日：平成23年10月10日 無断転載・複製不可

